

まぐろ延縄漁業 公表用実技試験問題（上級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着（5分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
- ② 救助ロープをもやい結びで装着する。

【使用機材】各自通常使用中の上記装具、ロープ2 m（人数分）

2. 漁具の製作・補修

(1) ロープの結び方（5分）

- ① かえる又結び ② 巻結び ③ もやい結び ④ アンカーベンド
- ⑤ フィッシャーマンズベンド

【使用機材】長さ2 m、中程度の太さのロープ（人数分）

(2) 漁具の製作（12分）

- ① アイスプライス ② ショートスプライス ③ バックスプライス
- ④ カットスプライス

【使用機材】中程度の太さのロープ3本、スパイキ（人数分）

(3) 浮子網の製作（20分）

網地で浮子を包む。

【使用機材】網地、浮子、ロープ（人数分）

3. 漁具・漁労機械の操作

※（1）、（2）についてはどちらかを選択する。

(1) ラインローラーによる幹縄の巻き上げ作業（5分）

- ① サンパウローラーとラインローラーに幹縄を掛ける。
- ② ラインローラーを空回転させる。
- ③ 試験官の指示に従い回転速度を変える。

【使用機材】幹縄20 m、ラインローラーを設備した漁船

(2) ソナー等の映像判断（5分）

画像を見て、操業に必要な以下情報を読み取る。

- ① 魚群反応、② 船首方向、③ 船首から魚群の方位、④ 船から魚群の距離、
- ⑤ 魚群の深さ

【使用機材】大日本水産会が用意

4. 漁獲物の処理

(1) 魚体処理 (3分)

複雑な工程の魚体処理の写真を正しい順番に並び替える。

【使用機材】大日本水産会が用意

以上